



青森県感染症発生情報 (2017年第31週)

I 第31週の発生動向 (2017/7/31~2017/8/6)

1. 手足口病については、三戸地方+八戸市保健所管内で**警報**が発令されました。東地方+青森市保健所管内、弘前保健所管内、上十三保健所管内、むつ保健所管内では**警報**が継続しています。五所川原保健所管内では警報は発令されていませんが、定点当たり報告数が3週連続で増加しています。県全体では定点当たり報告数の増加が続き、過去5年間の平均を上回る状態が続いていますので、今後の発生動向に注意が必要です。
2. RSウイルス感染症については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の平均と比較して、かなり多い状態が続いており、特に三戸地方+八戸市保健所管内では定点当たり報告数が前週の2倍に増加しました。RSウイルス感染症は、患者報告の大部分が0歳児と1歳児で、症状が重くなる場合があるので注意が必要です。
3. ヘルパンギーナについては、五所川原保健所管内、むつ保健所管内で、定点当たり報告数が前週より大きく増加しました。県全体では定点当たり報告数が7週連続で増加していることから、今後の発生動向に注意が必要です。
4. 流行性耳下腺炎については、県全体の定点当たり報告数が、2週連続で過去5年間の平均よりかなり多くなっています。

II 第31週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

		東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増 減
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科	インフルエンザ	2	0.15											2	0.03	2
	RSウイルス感染症	9	1.13	10	1.11	24	2.40					2	0.50	45	1.07	16
小児科	咽頭結膜熱	1	0.13	2	0.22	1	0.10							4	0.10	0
	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	5	0.63	6	0.67	13	1.30	2	0.40	1	0.17	4	1.00	31	0.74	7
	感染性胃腸炎	27	3.38	1	0.11	23	2.30	44	8.80	7	1.17	14	3.50	116	2.76	-6
	水痘	5	0.63	1	0.11			1	0.20	1	0.17			8	0.19	3
	手足口病	75	9.38	50	5.56	66	6.60	17	3.40	45	7.50	28	7.00	281	6.69	9
	伝染性紅斑															0
	突発性発しん	2	0.25	4	0.44	10	1.00	1	0.20	1	0.17			18	0.43	-7
	百日咳															0
	ヘルパンギーナ	22	2.75	13	1.44	6	0.60	19	3.80	8	1.33	14	3.50	82	1.95	21
	流行性耳下腺炎	1	0.13			14	1.40	1	0.20	10	1.67	8	2.00	34	0.81	0
眼科	急性出血性結膜炎															-1
	流行性角結膜炎									1	0.50			1	0.09	0
基幹	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎							1	1.00			2	2.00	3	0.50	1
	無菌性髄膜炎															0
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0

■ は警報、■ は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

感染症の窓

デング熱 (四類全数把握対象疾患)

デング熱は、ネッタイシマカなどの蚊によって媒介されるデングウイルスが感染しておこる感染症で、ヒトからヒトへ直接感染することはありません。比較的軽症のデング熱と、重症型のデング出血熱があります。デング熱患者は、デングウイルスを媒介する蚊が生息する熱帯・亜熱帯地域で多く見られます(図)。

平成26年(2014年)に、国内でデング熱に感染したことが確認された患者が報告され、平成28年(2016年)には、発生地域から帰国された方がデング出血熱で死亡する事例がありました。デング熱の発生地域へ渡航する場合は、長袖・長ズボンを着用し、虫よけスプレーを使用するなど、蚊に刺されないよう注意してください。

デング熱の潜伏期間は2~14日です。帰国後に発熱などの症状が出た場合は、速やかにお近くの医療機関を受診し、医師に渡航先や渡航期間、渡航先での活動などについて、詳しく伝えてください。

○詳しい情報はこちらをご覧ください [デング熱について\(厚生労働省HP\)](#)

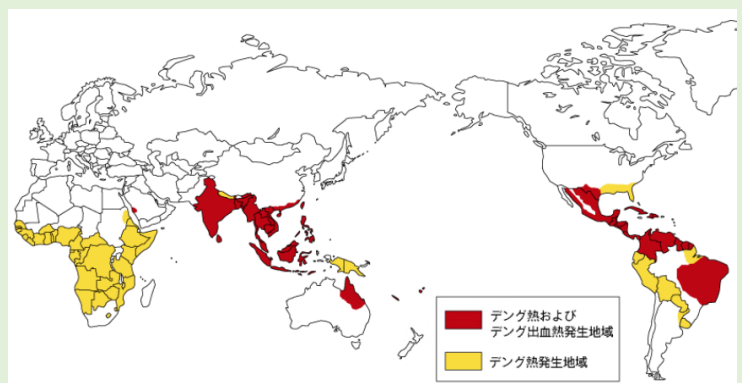


図 デング熱・デング出血熱の発生地域
出展: 国立感染症研究所 (2014年10月14日)

III 全数把握疾患

- ・結核（二類全数把握対象疾患）：青森市1人、弘前3人、三戸地方1人、八戸市2人、五所川原1人、上十三2人
(2017年計:185人)
- ・腸管出血性大腸菌感染症（三類全数把握対象疾患）：弘前1人
(2017年計:17人)
- ・E型肝炎（四類全数把握対象疾患）：青森市1人
(2017年計:6人)

IV 病原体検出情報 ※（ ）内は、検査材料及び検体採取日です。

無菌性髄膜炎患者（ふん便、7/24）・・・ヒトパレコウイルス3型：青森市1人

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況 (2017年第28週～2017年第31週)

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
28	H29.7.10 ~ H29.7.16	腸管出血性大腸菌 感染症1人 アメーバ赤痢1人	梅毒1人	梅毒1人		梅毒1人	
29	H29.7.17 ~ H29.7.23		腸管出血性大腸菌 感染症1人 水痘(入院例)1人			腸管出血性大腸菌 感染症1人	
30	H29.7.24 ~ H29.7.30	レジオネラ症1人	梅毒1人	腸管出血性大腸菌 感染症4人 つつが虫病1人		腸管出血性大腸菌 感染症2人	
31	H29.7.31 ~ H29.8.6	E型肝炎1人	腸管出血性大腸菌 感染症1人				

VI 結核(二類全数把握疾患) (2017年第28週～2017年第31週) (人)

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
28	H29.7.10 ~ H29.7.16	2	1	1		1	
29	H29.7.17 ~ H29.7.23	3	2			1	
30	H29.7.24 ~ H29.7.30	1	3	1			
31	H29.7.31 ~ H29.8.6	1	3	3	1	2	

Ⅶ 全数把握疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2017年第30週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	オウム病
累積報告数	12811	5	88	1215	22	9	197	179	19	11

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	回帰熱	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	ボツリヌス症
累積報告数	2	2	59	1	2	100	109	129	1	3

分類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎	クリプトスポリジウム症
累積報告数	26	11	1	866	8	634	165	867	424	7

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症
累積報告数	109	332	797	37	229	16	2135	186	3123	79

分類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	64	54	53	168	13

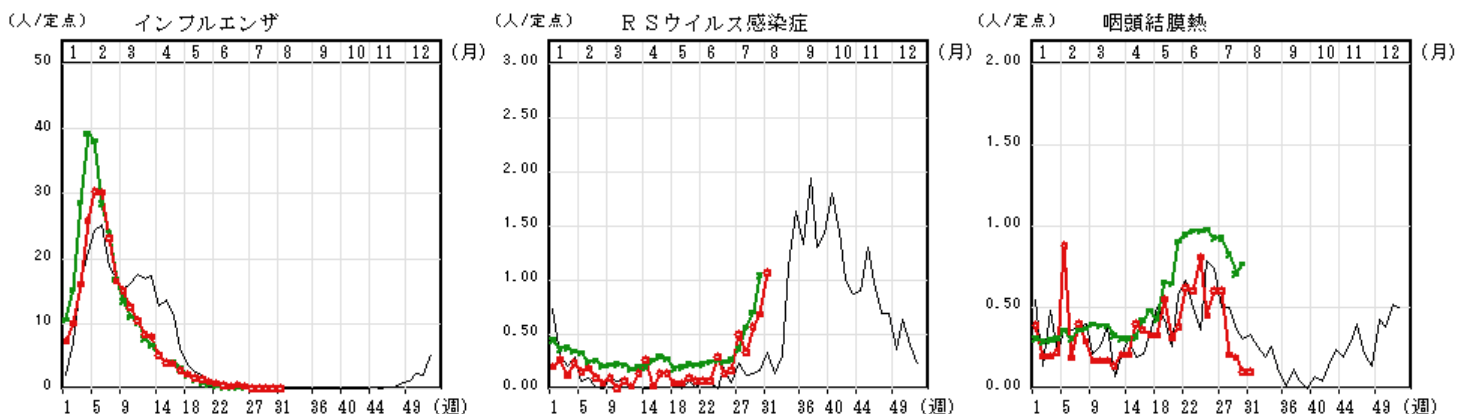
青森県（2017年第31週までの累計）

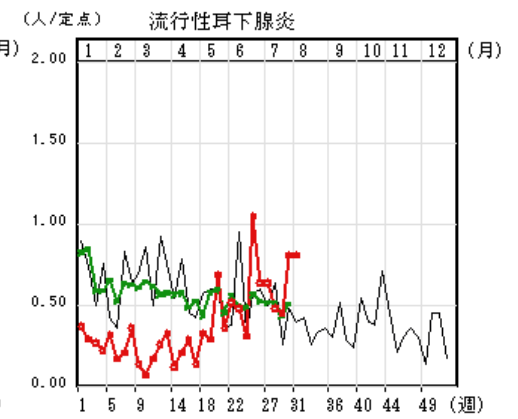
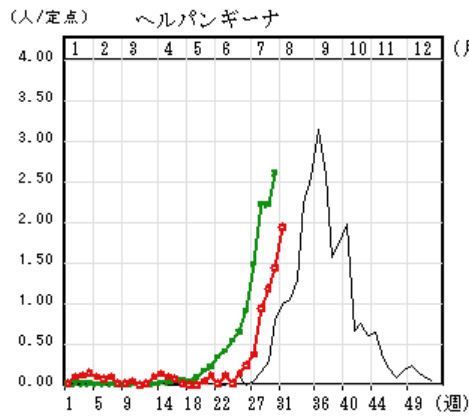
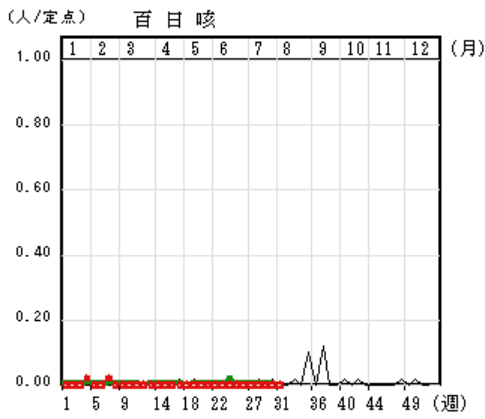
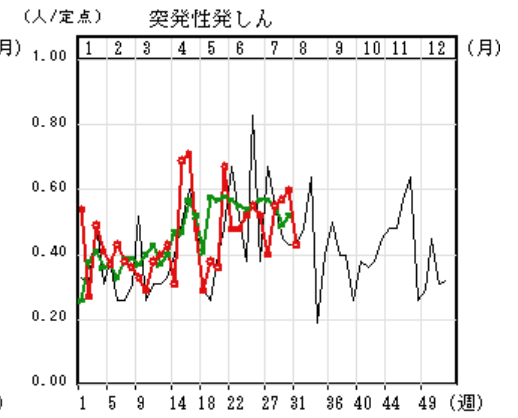
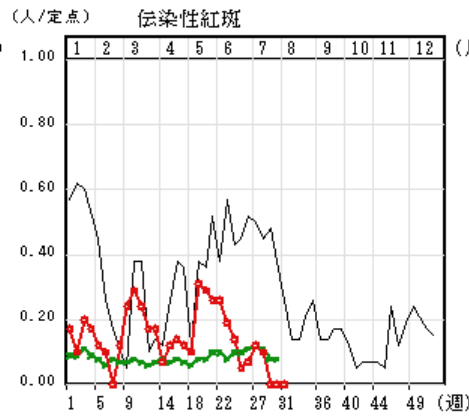
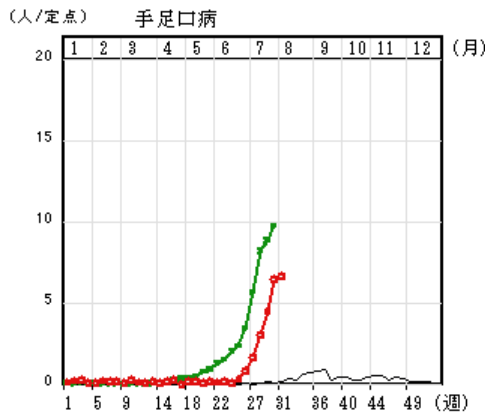
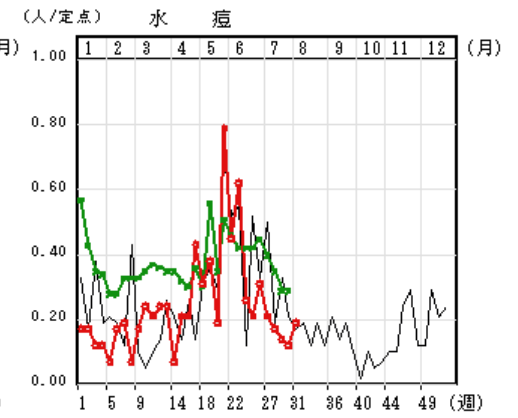
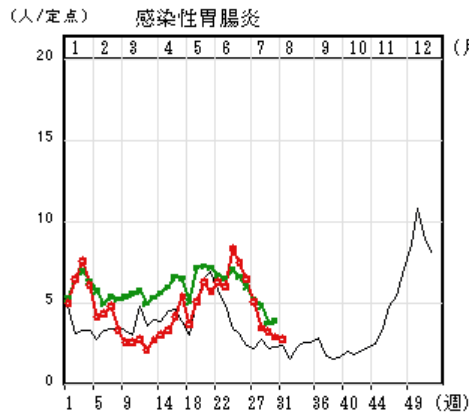
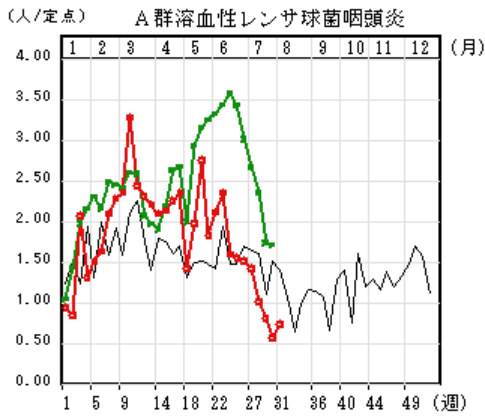
分類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症
累積報告数	185	17	6	2	10	7	3	11	1	2

分類	五類	五類	五類	五類
疾病名	後天性免疫不全症候群	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒
累積報告数	5	8	1	45

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移（2017年第31週、ただし全国は前週）

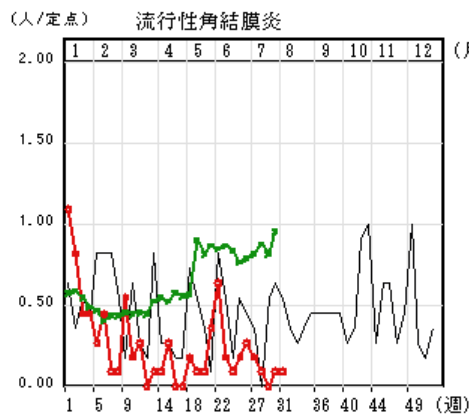
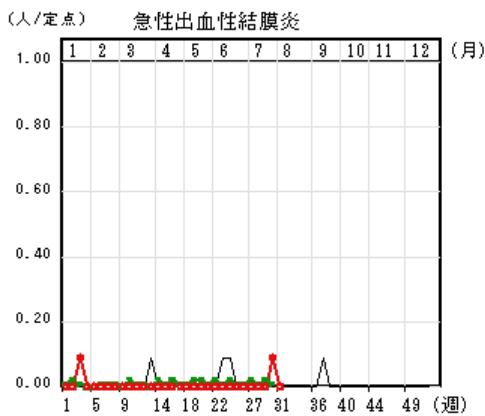
グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、×——×は2017年全国





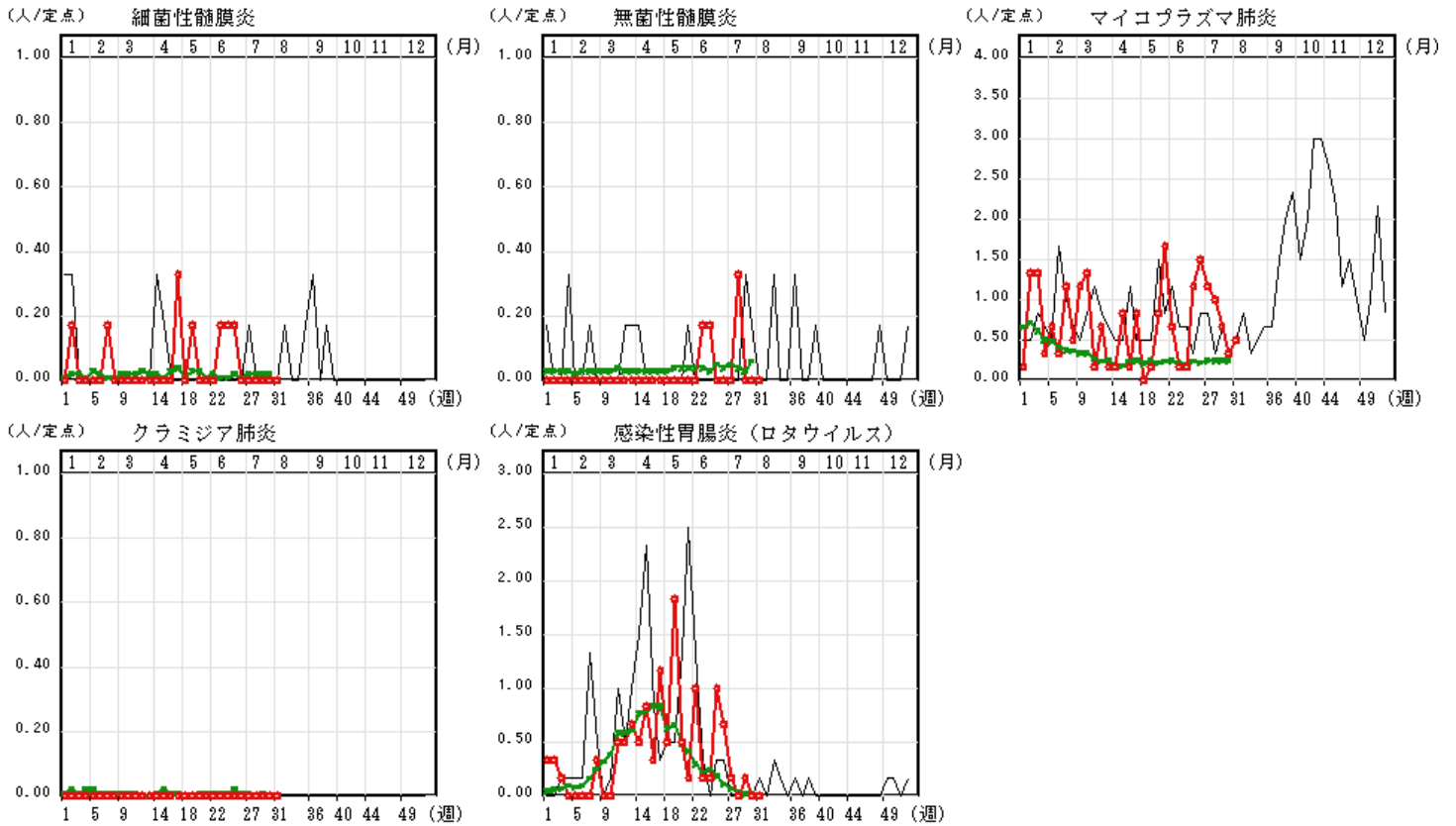
Ⅸ 眼科定点把握疾患週別推移 (2017年第31週、ただし全国は前週)

グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、 ×—×は2017年全国



X 基幹定点把握疾患週別推移 (2017年第31週、ただし全国は前週)

グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、 ×—×は2017年全国



XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成29年第31週

報告はありませんでした。

平成29年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-12週	13-17週	18-21週	22-25週	26-30週	31週	
介護・老人福祉関係施設	件数	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	発症者数	0	12	0	0	0	0	0	0	12
児童・婦人関係施設等	件数	1	2	1	0	2	0	0	0	6
	発症者数	13	48	14	0	44	0	0	0	119
障害関係施設	件数	0	1	0	1	0	0	0	0	2
	発症者数	0	43	0	38	0	0	0	0	81
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	1	4	1	1	2	0	0	0	9
	発症者数	13	103	14	38	44	0	0	0	212